

## 平成 19 年度事業概況

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

### 1. 定時会員総会に関する事項

平成 19 年 5 月 31 日、アクチュアリー会大会議室にて会員総会を開催し、

- 第 1 号 平成 18 年度事業概況に関する件
- 第 2 号 平成 19 年度事業計画（案）承認の件
- 第 3 号 平成 18 年度決算承認の件
- 第 4 号 平成 19 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号 会費分担に関する件
- 第 6 号 役員選任に関する件

を諮り、原案どおり承認された。

### 2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、賛助会員については入会 6 社、個人会員については入会 228 名、退会 120 名（うち死亡 6 名）があり、平成 20 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

#### 入会賛助会員

特定非営利活動法人 少額短期保険協会

EDS ジャパン

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

第一フロンティア生命保険株式会社

三井ダイレクト損害保険株式会社

日本経営数理コンサルティング株式会社

以上 6 法人

名 誉 会 員	7 名
正 会 員	1,212
準 会 員	830
研 究 会 員	1,716
小 計	3,765
賛 助 会 員	112
合 計	3,877

### 3. 事業概況

#### 〔試験関係〕

#### (1) 平成 19 年度資格試験の実施

平成 19 年 12 月 25 日、26 日、27 日の 3 日間、東京（早稲田大学西早稲田キャンパス）および大阪（天満研修センター）において実施し、平成 20 年 2 月 14 日に合格者を発表した。第一次試験の受験科目総数は 3,333、うち合格科目数は 1,172、第二次試験の受験科目総数は 501、うち合格科目数は 96、全科目合格者は 46 名であった。

(2) 第一次試験の解答方法の変更

第一次試験をすべて短答式（マークシート方式）に変更した。

(3) 教科書の改訂

前回改訂以降の法令等の変更を盛り込み「生保 1」「生保 2」を改訂した。

〔教育・研修・研究発表関係〕

(1) 平成 19 年度アクチュアリー講座を実施

会員の教育制度として、東京においてアクチュアリー講座を実施した。平成 19 年 5 月 8 日から 11 月 20 日の期間、基礎講座 11 科目および特論講座 7 科目を実施し、受講者数は基礎講座 160 名、特論講座 35 名であった。

(2) 平成 19 年度アクチュアリー追加演習講座を実施

会員の教育制度として、東京において入社 2～3 年目以降の受験者向けのアクチュアリー追加演習講座を実施した。平成 19 年 9 月 4 日から 11 月 30 日の期間、生保数理演習、損保数理演習、年金数理演習およびモデリング演習の 4 科目を実施し、受講者数は生保数理演習 76 名、損保数理演習 71 名、年金数理演習 61 名、モデリング演習 60 名であった。

(3) EAAC 東京大会の開催

平成 19 年 10 月 9 日～12 日、新宿 京王プラザホテルにおいて、第 14 回東アジアアクチュアリー会議（EAAC）東京大会が開催された。参加者は 601 名（日本 333 名、海外 268 名）、論文は 52 編（日本 23 編、海外 29 編）の提出があった。

(4) 平成 19 年度 IT 研究大会の開催

平成 19 年 11 月 8 日・9 日、大手町三井生命ビルにおいて開催した。

特別講演は「保険、医療業界における IT サービスの最新動向－保険金等の支払いに関する問題の背景にある構造変化と新たな事業機会について－」のテーマでニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役副社長 桑折 雅嗣 氏によって行われた。

(5) 例会の開催

第 1 回例会 平成 19 年 8 月 22 日（於：こまばエミナース）

「ソルベンシー・マージン基準の見直しについて」 猪野 力弥 君（ミリマン インク）

第 2 回例会 平成 19 年 10 月 17 日（於：こまばエミナース）

「Value-Added Loss Reserving for General Insurance

－ 支払備金分析の付加価値をいかに高めていくか」

Robert Conger 氏（テイリング・ハストワーズ・ペリン）

第 3 回例会 平成 19 年 11 月 21 日（於：こまばエミナース）

「自由化された市場における損保個人分野の最新料率算出テクニック」

「料率算出におけるアクチュアリーの役割：英国アクチュアリー会タスクフォースからの報告」

Duncan Anderson 氏（EMB Consultancy LLP）

第4回例会 平成19年12月10日（於：こまばエミナース）

「制度横断的な視点からみた社会保障改革の動向」 駒村 康平 氏（慶應義塾大学）

第5回例会 平成20年2月5日（於：こまばエミナース）

「相互会社の株式会社化」 Daniel J. McCarthy 氏（シマン インク）

第6回例会 平成20年2月20日（於：こまばエミナース）

「国際財務報告基準(IFRS)の現在の案について～我々は今どこにいて、どこへ向かうのか～」

R.Thomas Herget 氏（PolySystem）

第7回例会 平成20年3月6日（於：アクチュアリー会大会議室、

晴海トリトンスクエア オフィスター X 5F 会議室 2）

「論文発表研究集会」

第8回例会 平成20年3月27日（於：こまばエミナース）

「数学イノベーションへの展開に向けて～科学技術政策の観点から～」

細坪 護拳 氏（文部科学省 科学技術政策研究所）

#### (6) セミナーの開催

正会員および準会員を対象に下記の5テーマについて相互研鑽を目的に11月よりムーンライトセミナーを実施した。

- ① 数理ファイナンス入門 関口 健太郎 君（キャピタルコンサルティング）
- ② 損害保険における保険契約準備金の最新動向と今後 セミナー部会委員
- ③ 生命保険のプライシング実務 大塚 忠義 君（マチュライフ生命）
- ④ Market Consistent Valuation（保険負債の市場整合的評価）について 土井 和行 君（テイリングハストワーズペリン）
- ⑤ 国際会計基準における保険契約の扱いについて 吉田 英幸 君（あらた監査法人）
- ⑥ US-GAAP Valuation に係る最近の話題について 坂井 秀樹 君（ソニー生命）

#### (7) プロフェッショナルリズム研修の実施

平成20年2月21日、損保会館において、正会員（今年度の資格試験で全科目に合格した準会員を含む）および準会員（今年度の資格試験で基礎科目すべてに合格した研究会員を含む）を対象に下記の研修内容で実施した。今年度の受講修了者は正会員20名、準会員65名であった。

- |                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| IAA シラバスとプロフェッショナルリズム | 大山 義広 君（中央三井アセット信託）             |
| アクチュアリーと行動規範について      | 小林 修 君（明治安田生命）                  |
| 生保のプロフェッショナルリズム       | 中村 亮一 君（日本生命）                   |
| 損保のプロフェッショナルリズム       | 若林 健一 君（日本興亜損害）                 |
| 年金のプロフェッショナルリズム       | 長澤 亮之 君（住友信託）、<br>藤井 康行 君（住友信託） |

## (8) 研究会活動

現在以下の 10 の研究会で活発な研究を行っている。各研究会の活動状況等について、当会ホームページに掲載するとともに、研究成果としてまとめたものについては、会報別冊等を通じて公表した。

外国文献研究会	生保計理に関する基本問題研究会
ASTIN 関連研究会	巨大リスク研究会
年金基礎研究会	年金理論研究会
医療保険研究会	AFIR 関連研究会
デリバティブ研究会	ALM 研究会

## 〔委員会・部会活動〕

### (1) 実務基準の整備・充実

- イ. 「生命保険会社の保険計理人の実務基準」については、平成 12 年金融監督庁・大蔵省告示第 22 号に基づく第三分野保険の負債十分性テストの実施に対応するため、平成 20 年 2 月に所要の改定を行った。
- ロ. 「損害保険会社の保険計理人の実務基準」については、平成 12 年金融監督庁・大蔵省告示第 22 号に基づく第三分野保険の負債十分性テストの実施に対応するため、平成 20 年 2 月に所要の改定を行った。
- ハ. 「退職給付会計に係る実務基準」については、日本年金数理人会と共同で平成 20 年 2 月に所要の改定を行った。
- ニ. 実務基準部会（生保）内にワーキンググループを設置し、保険計理人の関与事項及び役割等に関する調査・研究を実施した。

### (2) 標準死亡率諮問委員会の開催

平成 19 年 8 月 2 日に開催された第 13 回標準死亡率諮問委員会において、「生保標準生命表 2007（死亡保険用）」、「生保標準生命表 2007（年金開始後用）」、および「第三分野標準生命表 2007」について、平成 20 年度は継続適用することが了承された。

### (3) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

- イ. 国際会計基準および保険監督の国際基準についてはそれぞれ IASB（国際会計基準審議会）ならびに IAIS（保険監督者国際機構）において精力的な検討がなされ、それぞれの機関会員である IAA（国際アクチュアリー会）では、アクチュアリー専門職団体として保険契約の国際会計基準(IFRS4)に対応する国際アクチュアリー実務基準の作成や IAIS の委託研究を行う等の活動を行っている。IAA 正会員メンバーである当会においても、生保委員会、損保委員会の関連の部会にて検討を進めるとともに、IAA の委員会活動に積極的に参画している。
- ロ. 生保委員会・損保委員会の傘下に国際基準実務検討部会（生保・損保）を設置し、日本における国際的な監査基準・会計基準の実務検討を行った。また、企画委員会の傘下に国際基準対策 PT を設置し、関係部会を含めた進捗管理や、生保・損保間の調整および対外的な窓口の一本化を図った。

#### (4) 情報提供機能の充実

- イ. 各委員会・部会の活動状況等について当会のホームページに情報を掲載した。
- ロ. 諸外国のアクチュアリー会の刊行物に掲載されている記事の一部について、その概要の紹介を当会のホームページにおいて行った。

#### (5) 中長期的な事業戦略の策定

企画委員会下に事業戦略検討WGを設置し、当会の「2008年度を始期とする中長期的な事業戦略」を策定した。

### 〔意見表明〕

#### (1) 以下の案件について、IAAの電子投票を行った。

- イ. 平成19年6月、IAA国際教育プログラム委員会(IEPC)の延長に関して、賛成として投票を行った。
- ロ. 平成20年1月、IAAメンバーサービス委員会の拡大等に関して、賛成として投票を行った。
- ハ. 平成20年2月、IAAビジョン・ミッション・バリューに関して、賛成として投票を行った。

#### (2) 平成19年9月、法務省に対し、「保険法の見直しに関する中間試案」に対する意見を提出した。

#### (3) 平成19年11月、IASBに対し、「保険契約についての予備的見解」に対する意見を提出した。

### 〔国際関係〕

#### (1) 第36回東アジア・アクチュアリー講座(ASEA)の実施

平成19年7月23日から8月3日までの12日間にわたり、東アジアを中心とする11地域から25名の参加を得て、保険数理に関する特定のテーマについての講座を実施した。

#### (2) IAA活動

本年度はメキシコ会議(平成19年4月15日~18日)、ダブリン会議(平成19年10月24日~29日)に委員を派遣した。

平成19年度末現在の当会のIAA委員会等の委員は以下のとおりである。また、日笠会長が平成20年1月1日よりIAA次期会長に就任した。

Accreditation Committee	五十嵐 勉 君
Advice and Assistance Committee	辻 芳彦 君
China Subcommittee	辻 芳彦 君
Education Committee	村田 富生 君
Executive Committee	日笠 克巳 君

Task Force on Strategic Planning	日笠 克巳 君 村田 富生 君
Task Force on Mortality	高橋 佳宏 君
Insurance Accounting Committee	阿比野 裕 君 田口 茂 君
Subcommittee on Actuarial Standards	阿比野 裕 君 田口 茂 君
Insurance Regulation Committee	河野 年洋 君
Solvency Subcommittee	河野 年洋 君
Reinsurance Subcommittee	河野 年洋 君
International Education Program Committee	村田 富生 君
Member Services Committee	日笠 克巳 君
Task Force on Section	吉村 雅明 君
Nominations Committee	日笠 克巳 君
Professionalism Committee	吉村 雅明 君
Social Security Committee	水上 孝 君
ASTIN Section	森本 祐司 君
IAA Life Section	辻 芳彦 君
IAA Health Section	坂本 純一 君
IACA Section	吉田 英幸 君

### (3) IAA 迅速処理適用案件

以下の案件について、IAA の迅速処理手続きが適用された。へ. については、保険契約の負債の測定および表示について当会から IASB に意見の提出を行ったが、それ以外の案件については当会から反対等の意見は表明しなかった。

- イ. 平成 19 年 4 月、IAASB 公開草案「ISA540 公正価値会計上の見積もりを含む、会計上の見積もりと関連する開示の監査」および「ISA545 公正価値の測定及び開示に関する監査の廃止」に対する IAA 意見
- ロ. 平成 19 年 8 月、IAIS 「資本要件に対するガイダンスペーパー」に対する IAA 意見
- ハ. 平成 19 年 8 月、IAIS 「保険会社の内部モデルの使用に関するガイダンスペーパー」に対する IAA 意見
- ニ. 平成 19 年 8 月、IAIS 「資本およびソルベンシー目的のための ERM に関するガイダンスペーパー」に対する IAA 意見
- ホ. 平成 19 年 10 月、IVSC 「IFRS 報告目的のための無形資産の公正価値決定」に対する IAA 意見
- へ. 平成 19 年 11 月、IASB 「保険契約についての予備的見解」に対する IAA 意見
- ト. 平成 19 年 11 月、FASB アジェンダプロポーザル「IASB の保険契約についての予備的見解を含めた保険会社および保険契約者による保険契約の会計」に対する IAA 意見
- チ. 平成 19 年 11 月、IAASB 「2009-2011 戦略案に関するコンサルティングペーパー」に対する IAA 意見
- リ. 平成 20 年 1 月、IASB 公開草案「IFRS の改善」に対する IAA 意見
- ヌ. 平成 20 年 1 月、BAS 「概念フレームワークに向けて：コンサルテーション・ペーパー」に対する IAA 意見

ル。平成20年2月、IAASB「ISA620 監査人による専門家の作業の使用に関する公開草案」に対する IAA 意見

#### (4) 国際交流関係

来日した各国アクチュアリーと交流を図ったほか、次のとおり会議等に会員を派遣した(前述の会議についても再掲)。

- 平成19年4月15日～18日 IAA 会議 (於：メキシコ メキシコシティ)  
日笠 克巳 君、五十嵐 勉 君、吉田 英幸 君、阿比野 裕 君、  
河野 年洋 君、森本 祐司 君、吉村 雅明 君、重原 正明 君、  
安中 眞 君、村田 富生 君
- 平成19年5月13日～16日 IAAHS 大会 (於：南アフリカ ケープタウン)  
坂本 純一 君
- 平成19年5月21日～23日 PBSS 大会 (於：フィンランド ヘルシンキ)  
杉田 健 君
- 平成19年6月12日～15日 AFIR 大会 (於：スウェーデン スtockホルム)  
白井 健史 君
- 平成19年6月13日～15日  
IAA 保険会計委員会およびリスマージン・ワーキング・グループ (於：イギリス ロンドン)  
阿比野 裕 君、田口 茂 君
- 平成19年6月19日～22日 ASTIN 大会 (於：アメリカ オーランド)  
森本 祐司 君
- 平成19年7月30日～8月3日 東南アジア ヘルス・インシュアランス・カンファレンス (シンガポール)  
矢倉 尚典 君
- 平成19年8月2日～7日 EAAC 加盟国訪問 (タイ、香港)  
多島 和夫 君、泉田 夏樹 君
- 平成19年8月8日・9日 EAAC 加盟国訪問 (韓国)  
日笠 克巳 君、村田 富生 君
- 平成19年8月8日～11日 EAAC 加盟国訪問 (フィリピン、台湾)  
土井 和行 君、浅見 学 君
- 平成19年8月16日～22日 EAAC 加盟国訪問  
(インドネシア、シンガポール、マレーシア)  
村田 富生 君、三好 茂貴 君
- 平成19年9月6日・7日 IAA Fund Meeting (於：タイ バンコク)  
五十嵐 勉 君、辻 芳彦 君
- 平成19年9月23日～26日 オーストラリアアクチュアリー会コンベンション  
(於：ニュージーランド クライストチャーチ)  
石井 一眞 君
- 平成19年10月14日～17日 SOA 年次大会 (於：アメリカ ワシントン D.C.)  
田中 周二 君

平成 19 年 10 月 24 日～29 日 IAA 会議（於：アイルランド ダブリン）

日笠 克巳 君、五十嵐 勉 君、吉田 英幸 君、坂本 純一 君、  
阿比野 裕 君、河野 年洋 君、吉村 雅明 君、村田 富生 君、  
重原 正明 君、安中 眞 君、辻 芳彦 君

平成 19 年 11 月 11 日～14 日 CAS 年次大会（於：アメリカ シカゴ）

林 弘 君

### 〔評議員会〕

#### (1) 平成 19 年度評議員会の開催

平成 20 年 3 月 6 日、経団連会館にて開催した。平成 19 年度の事業概況、2008 年度を始期とする中長期的な事業戦略および平成 20 年度の事業計画について審議した。

### 〔産学共同〕

(1) 京都大学より保険数学の講師派遣の依頼があり、大内 修 君（住友生命）、大嶋 孝造 君（住友生命）、松村 隆巳 君（大同生命）、南 嘉博 君（日本生命）を派遣した。

(2) 大阪大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、青井 知幸 君（日本生命）、大内 修 君（住友生命）、松村 隆巳 君（大同生命）を派遣した。

(3) 神戸大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、大内 修 君（住友生命）を派遣した。

### 〔表彰関係〕

#### (1) 平成 18 年度資格試験成績優秀者の表彰

##### イ. 理事長特別賞・理事長賞の授与

平成 19 年 5 月 31 日に、森池 真悟 君（プルデンシャル生命）に理事長特別賞を、今富 哲史 君（東海日動あんしん生命）に理事長賞を授与した。

##### ロ. 科目別成績優秀賞の授与

同日、次の 8 名を表彰した。

新居 悠輝 君	（全 共 連）	数学
松浦 峻 君	（個 人）	数学
門脇 大輔 君	（損保ジャパン）	生保数理
吉口 寛之 君	（ハートフォード生命）	損保数理
緒方 聖一 君	（A I U）	年金数理
高田 雄太 君	（第 一 生 命）	会計・経済・投資理論
佐藤 誠 君	（ト ー マ ツ）	会計・経済・投資理論
齊藤 衣絵 君	（損保ジャパン）	生保 1

## (2) 優秀論文の表彰

次のとおり優秀論文を決定した。

### イ. 優秀論文 4 編 (平成 20 年度年次大会で表彰予定)

「台風リスクの証券化に関する一考察」 友寄 一郎 君 (大同火災)

「生存保障性商品における基礎率算定に関する一考察」

谷本 篤紀 君 (明治安田生命)

「貯蓄性商品のリスク特性に関する一考察」 小林 育生 君 (日本生命)

「厚生年金基金の財政運営に関する一考察」

藤澤 樹一朗 君、栗原 崇人 君 (住友信託)

### ロ. IT 関係優秀論文の表彰 2 編

「保険会社におけるディザスタリカバリについて」 IT 研究会第 1 グループ

「保険業界における SOA (サービス指向アーキテクチャ) の活用」

IT 研究会第 3 グループ

## 〔広報・出版活動〕

### (1) 広報活動

イ. 広報誌「アクチュアリー」の配布

ロ. 「アクチュアリーセミナー」の実施

主に学生を対象としたセミナーを、平成 19 年 11 月 17 日に東京 (日本アクチュアリー会大会議室) で、12 月 1 日には大阪 (住友生命 釣鐘倶楽部) で開催した。各々の参加者は 30 名および 25 名であった。

### (2) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

イ. 会 報 第 60 号

ロ. 会報別冊 第 231 号 平成 18 年度資格試験問題集

第 232 号 「エンバディット・バリュー報告における最近の進展

および極値事象のモデリング」

第 233 号 「第 47 回 IT 研究大会報告」

ハ. アクチュアリージャーナル 第 63 号～第 65 号

ニ. アクチュアリージャーナル 特別号「リスクと保険」

ホ. 関西支部研究会記録 第 43 号 (ホームページ上に掲載)

ヘ. 確率・統計・モデリング問題集

ト. 生命保険会社の米国会計基準 第 2 版

## 〔図書関係〕

### (1) 図書の充実

引き続き、図書室の図書の充実を図った。平成 19 年度中の図書の増加状況は次のとおり。

洋書 11 冊 和書 44 冊 計 55 冊

## 〔関西支部〕

### (1) 支部総会

平成 19 年 5 月 25 日、大同生命 大阪本社にて支部総会を開催し、

第 1 号 平成 18 年度事業概況に関する件

第 2 号 平成 18 年度決算および平成 19 年度予算（案）承認の件

第 3 号 平成 19 年度事業計画（案）承認の件

を諮り、原案どおり承認された。

### (2) 関西支部例会の開催

平成 19 年 9 月 3 日（於：アプローズタワー）

「保険とコーポレート・ファイナンス：特に保険ベータをめぐって」

森平 爽一郎 氏（早稲田大学大学院）

平成 19 年 11 月 9 日（於：淀屋橋フレックスタワー）

「生保業界の現状と今後の方向性について ～ 支払問題を越えて」

植村 信保 君（格付投資情報センター）

平成 20 年 1 月 9 日（於：アプローズタワー）

「企業年金の法政策的課題 ～企業年金研究会報告書と NTT 事件判決を素材に～」

森戸 英幸 氏（上智大学）

平成 20 年 2 月 1 日（於：NSDビル）

「医療費統計をめぐる課題」

石原 公一郎 君（厚生労働省）

### (3) 関西支部研究会活動

次の 5 分科会において研究調査活動を行った。

保険計理分科会	委員長	山内 宗幸 君（日本生命）
年金分科会	委員長	浅見 俊一 君（りそな信託）
海外年金研究会	委員長	中山 素生 君（日本生命）
システム分科会	委員長	小山 健二 君（富士火災）
アクチュアリーセミナー	委員長	中村 吉男 君（住友生命）

### (4) 関西支部アクチュアリー講座の実施

関西支部においてアクチュアリー講座を実施した。受講者数および講師は次のとおりであった。

	受講者数	講 師
生保数理（8～10 月）	10 名	堀井 俊宏 君（大同生命）
年金数理（8～10 月）	11 名	山本 和彦 君（りそな信託）